

減災！六甲山2012。治山を学び土砂災害に備えよう！ 「六甲山の災害展」を開催

農政環境部治山課、神戸県民局六甲治山事務所

兵庫県農政環境部治山課、六甲治山事務所では、毎年6月の梅雨時期にあわせ、県民の土砂災害に関する知識や防災意識の向上を目的に「六甲山の災害展」を開催しています。

阪神淡路大震災以降、平成9年から実施している本イベントも16回目を迎え、今年も「減災！六甲山2012。治山を学び、土砂災害に備えよう！」をテーマに、6月12日から24日まで、阪神・淡路震災記念「人と防災未来センター」(神戸市中央区)において開催しました。

また今年も、近隣にお住まいの方々にも一人でも多く足を運んでもらえるよう、新たにPRポスター・ビラを作成し、会場周辺の商業施設(ブルメールHAT神戸さん、ケーズデンキさん)に掲示いただいたほか、近隣小学校・児童館へ配布しました。



PRポスタービラ

東日本大震災の影響が薄れ、関西への旅行者が少なくなったことから、団体客の来館こそ減少したものの、買い物帰りの家族連れや小学生の仲良しグループなど、昨年まではあまり見られなかった地元の来館者が増えたことが何よりうれしい成果でした。

会場では(社)兵庫県治山林道協会の協力のもと、「降雨体験装置カッパくん」や「土石流実験装置」の実演により、集中豪雨の様子や土石流のメカニズム、治山施設の効果などを体感していただきました。

中でも土石流実験では、家や道路が土砂に埋も



会場の様子(土石流実験装置の実演)

れていく様子を子供達が食い入るように観察している姿が印象的でした。

また「阪神大水害(昭和13年)」「昭和42年災」「阪神淡路大震災」など、過去に六甲山系で発生した大災害やその後の復旧状況を紹介するパネル展示では、お

年寄りの来場者から当時の様子を聞かせていただくなど、我々にとっても貴重な経験となりました。

昨年の東日本大震災や紀伊半島での天然ダム発生、今春の関東地域を襲った竜巻など、近年の異常気象により全国各地で甚大な災害が多発しています。

災害はいつでもどこで発生するかわかりません。皆さんも家の近くにある危険箇所や避難経路を再確認し、災害に備えるよう心がけていただければ幸いです。

最後になりましたが、会場を提供いただきました「人と防災未来センター」をはじめ、PR活動にご賛同いただいた周辺施設の皆様、期間中スタッフとしてお手伝いいただいたOBの方々等、六甲山の災害展の開催にご協力いただきました関係者の皆様に本誌をお借りして御礼申し上げます。



展示パネル(阪神大水害S13被災状況)